

北部機械金属業界の景況動向

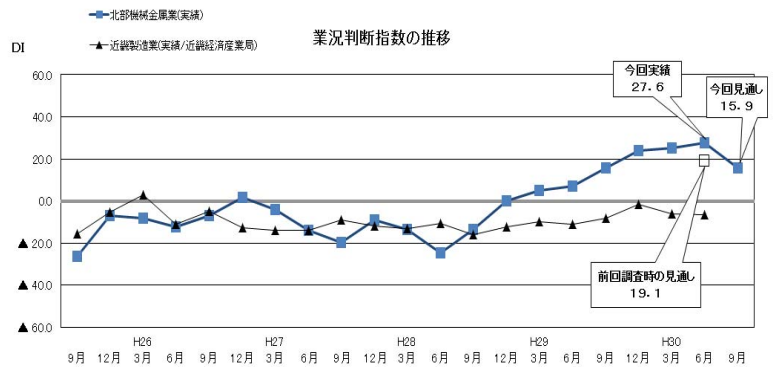
(2018年4~6月実績/2018年7~9月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業180社 【調査時点 平成30年6月下旬】
- 回答数：134社（回答率74.4%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:28、舞鶴市:20、綾部市:18、宮津市・与謝郡:16、京丹後市:52
 - ②取扱別 = 一般機械:56、電気機械:17、輸送機械:30、精密機械:12、その他:19
 - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1~9人:42、10~19人:28、20~49人:35、50~99人:17、100人以上:12
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

一 調査結果一

1 景況動向判断

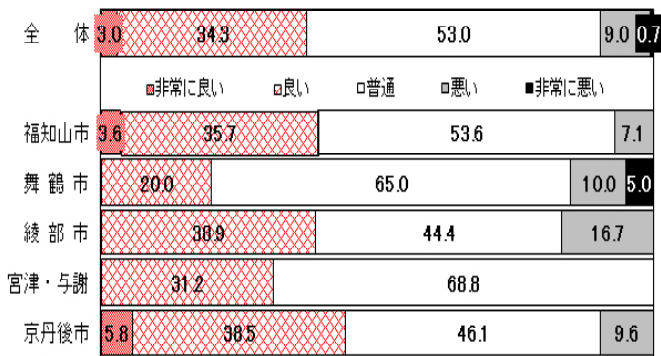
●4~6月実績のDI(業況判断指数)は 27.6 となり、1~3月期(以下「前回」)より2.5ポイント増加し、8四半期連続で改善を示した(前回 25.1)。地域別では、福知山市域が 32.2(前回 20.8)、舞鶴市域が 5.0(前回 -11.1)、綾部市域が22.2(前回9.6)、宮津市・与謝郡域が 31.2(前回 14.4)、京丹後市域が34.7(前回48.2)と京丹後市域以外で改善の結果となった。



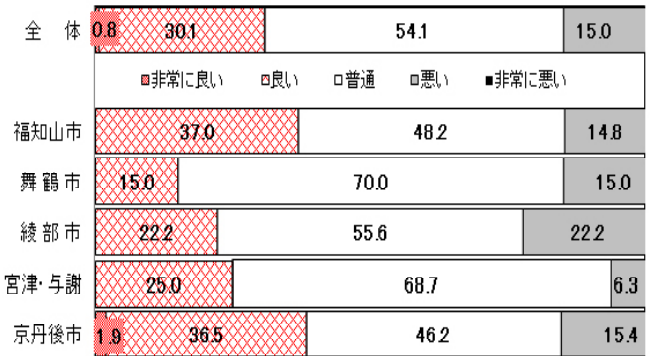
注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

●7~9月見通しのDIは 15.9となり、前回より3.2ポイント低下の見通しとなった(前回 19.1)。地域別では、福知山市域が22.2(前回16.6)、舞鶴市域が0.0(前回-5.5)、綾部市域が0.0(前回4.7)、宮津市・与謝郡域が18.7(前回7.2)、京丹後市域が23.0(前回35.9)と福知山市、舞鶴市、宮津市・与謝郡域で前回より改善の見通しとなった。

景況動向判断4~6月実績



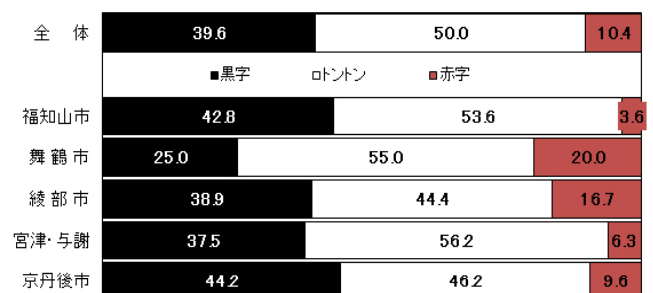
景況動向判断7~9月見通し



2 採算状況

●4~6月の採算状況は、黒字とする企業が 39.6% (前回 41.2%)と1.6ポイントわずかに低下し、赤字とする企業は10.4% (前回10.7%)となり、ほぼ横ばいで推移した。地域別では、黒字とする企業は京丹後市域で44.2%と最も多く、全ての地域で黒字とする企業の割合の方が、赤字とする企業より多い結果となった。

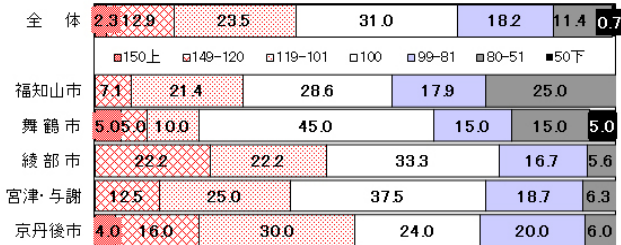
4~6月採算状況



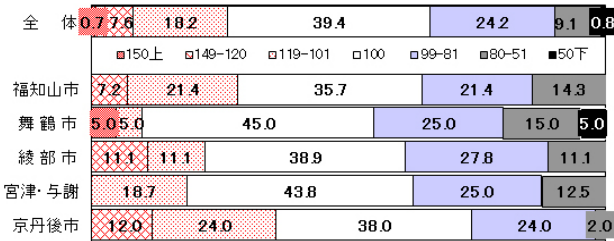
3 受注量

●4～6月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業が69.7%（前回75.4%）と5.7ポイント低下した。対3か月前比100%以上を確保した企業は65.9%（前回70.8%）と4.9ポイント低下となった。地域別では、対前年比及び対3か月前比100%以上の受注を確保した企業が、全ての地域で5割を超える結果となった。

4～6月受注量(前年比%)

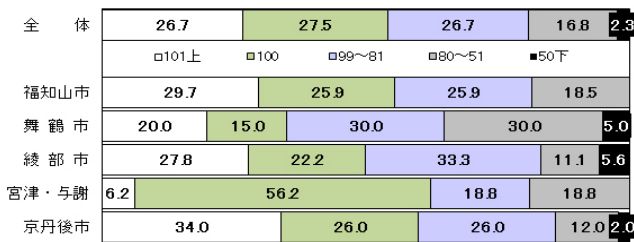


4～6月受注量(3ヶ月前比%)



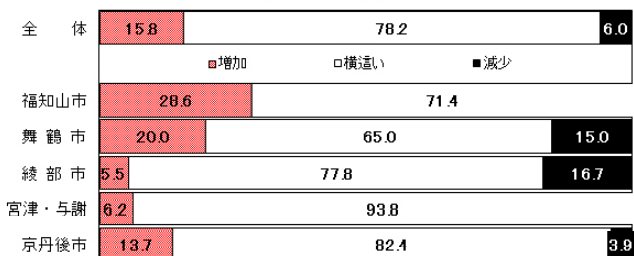
●4～6月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業の割合が54.2%（前回57.0%）と2.8ポイント低下した。舞鶴市域以外で受注能力100%以上の受注量を確保した企業の割合が5割以上となった。

4～6月受注量(受注能力を100として%)



●7～9月の受注見通しは、増加を見込む企業の割合が15.8%（前回16.4%）とほぼ横ばいに推移、減少を見込む企業は6.0%（前回14.1%）と8.1ポイント低下の見通しである。

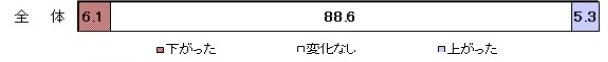
7～9月受注見通し



4 受注条件（受注単価／納期）

●受注単価が上がったとする企業は5.3%（前回3.9%）と1.4ポイントわずかに増加、下がったとする企業は6.1%（前回5.5%）とほぼ横ばいで推移した。納期が短くなったとする企業は15.2%（前回18.7%）と3.5ポイント低下した。

4～6月受注単価(前年比%)



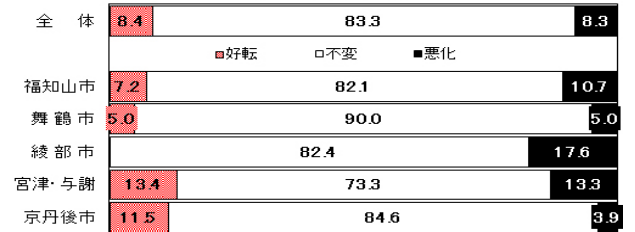
4～6月納期



5 資金繰り

●資金繰りは、好転とする企業が8.4%（前回6.9%）と1.5ポイントわずかに増加、悪化した企業が8.3%（前回6.2%）と前回より2.1ポイント増加した。

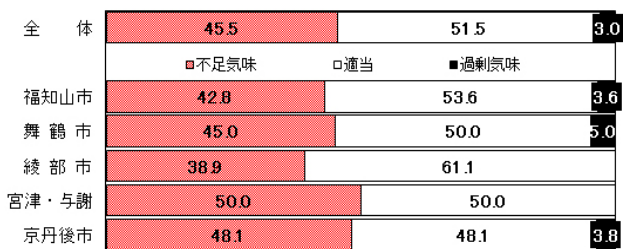
4～6月資金繰り



6 従業員数

●従業員数は、不足気味が45.5%と7.2ポイント低下（前回52.7%）、過剰気味が3.0%（前回0.8%）となった。舞鶴市域のみで、不足気味とする企業の割合が前回より増加した。

4～6月従業員数



7 新規雇用

●新卒採用ありの企業は21.6%（前年18.9%）、中途採用は47.8%（前年39.1%）だった。雇用対策では「賃金の向上」が56.7%と最も多かった。

雇用確保対策(複数回答)

